

正しい情報機器の使い方を

12日(月)に、篠原嘉一氏(NIT情報技術推進ネットワーク株式会社)をお招きして、「正しい情報機器の使い方講習会」を開催いたしました。3年生以上の児童らとっしょに、多くの保護者の皆さまにもご参加いただきました。昨今の子ども達が触れる機会の多いスマホや携帯ゲーム機などに関して、それらに潜む危険性と安心安全に利用するために守るべきルールやマナーを、実際の機器やアプリを使いながら分かりやすく説明していただきました。

児童らや参加された保護者の方からいただいた講習会後の感想を、一部ご紹介いたします。

《児童らの感想》

○スマホやネットゲームには外国から来ているものもあり、お母さんのスマホでゲームをするときは十分気をつけたいなと思いました。(3年1組)

○最近、文字を習っていない幼稚園の子でも話しかけて機械を使うのがすごいと思ったけど、それはとても危険だと思いました。(3年2組)

○私はスマホを持っているけれど、インターネットやゲームアプリは使えないように設定されています。今日話を聞いて、お母さんがなぜそういう設定にしているのかよくわかりました。(3年3組)

○私は今はスマホを持っていないけど、もし買った時に、ちゃんとお母さんに設定してもらいたいなと思いました。(4年1組)

○私が一番怖いと思うことは「知らない」ことです。「知らない」から怖いサイトにアクセスしてしまったりするからです。便利な物は自分で賢く使わないといけないと思いました。(4年2組)

○LINEやインスタグラムなどのアプリはただやり取りするだけだと思っていたけれど、講習会を受けて、けんかやいじめにもつながることが怖いと思いました。(4年3組)

○家に帰ったらさっそく自分のスマホをアップデートして、妹のタブレットも設定してみようと思いました。家族会議をしようと思います。(5年1組)

○家に帰ったら個人情報もれていないか調べてみたいです。お母さんがよくLINEをしているので、1日に何時間くらいやっているのか気になりました。(5年2組)

○動画や画像を投稿すると位置情報や個人情報がもれてしまうので、すごく危ないと思った。YouTubeにコメントを書きこんだこ



ともあるので、これからは書かないようにしようと思った。(5年3組)

○鳥肌が立つほど刺激を受けました。今年はスマホに買い替えたので、人ごとじゃないな
と思い、ぞくっとしました。(6年1組)

○弟や妹の機械の使い方を親と相談しなければと思いました。スマホを買う前に話を聞け
て良かったです。(6年2組)

○今日の話聞いて、ネットの表面は楽しくて役に立つものだけど、裏面はすごく危なく
て怖いものだと思えて感じました。(6年3組)

《保護者の方の感想》

○親のスマホの使い方も気をつけたいです。とくに画像の扱いに
ついてはより注意していきたいです。(2年保護者)

○子どもにはスマホ・タブレットなどは与えていなかったのですが、「使わせない」ではなく「使わせて正しい使い方を覚える」よ
うにしないと時代に取り残されてしまうかもと感じました。(3年
保護者)

○スマホやインターネットを使うこと自体を否定するのではなく、
気をつけておかなければならない点を正しく知る必要性があるこ
とを強く感じました。(3年保護者)

○昔であれば携帯や番号・アドレスを変えれば一度できたつながりも切ることができまし
たが、今はそれが難しいということが分かり、親子で考えてうまく付き合っていこうと思
います。(3年保護者)

○スマホは気軽に利用できるからこそそのリスクもあることを知りました。子どもとスマホ
やタブレットを使用する際のルールを話し合ういい機会になりました。(4年保護者)

○フェイスブックやインスタグラムの過去の投稿で進学や就職が難しくなる可能性がある
という話には驚いた。(4年保護者)

○親自らがアプリやネットの使い方を知らないで安易に子どもに使わせてしまっている無
責任さに、反省しました。(4年保護者)

○講師の方のお話が子どもたちにも大変わかりやすかったようで、帰宅した子どもたちか
らもたくさん感想が聞けました。親子で話し合うきっかけになり、参加させていただい
て本当によかったです。(5年保護者)

○個人が特定され簡単に拡散されてしまう設定のまま、危険なアプリや不特定多数の人と
会話ができるゲームに子どもたちが気軽に触れていることを知り驚きました。(5年
保護者)

○TikTok を子どもが見ているのは知っていましたが、危険性があることを知り、とても勉
強になりました。使う人間の方もアップデートが必要ですね。(6年保護者)

○凄くためになりました。そんなつもりじゃなかった…はずが、大変な目に合うことがよ
くわかりました。できればわが子には投稿などしてほしくないです。(6年保護者)

○LINE などの無料アプリでは個人情報を提供することでサービスを受けているというこ
とをふだんは意識していなかったのですが、意識を改めるいい機会になった。(6年保護者)



《「東豊台スマホアンケート」の結果》

あわせて、今月初旬に本校で独自に実施いたしました「東豊台スマホアンケート」の結果をご報告いたします。

これは3年生以上の児童を対象に、スマートホンなどの情報機器の所持状況やインターネットの使用状況、ご家庭におけるルールづくりの現状などを把握し、今後の指導に活かしていくために実施したものです。

そのアンケートにより、本校の現状として以下のようなことが読みとれました。

- ・男児より女児の方が、何らかの種類の携帯電話を持っている割合が高い。
- ・高学年になるにつれ、スマホを持っている割合が高い。
- ・インターネット使用端末は、男児はゲーム機、女児はスマホの割合が高い。
- ・インターネット使用内容は全体的に動画視聴の割合が高く、男児はネットゲームの割合も高い。
- ・6年生女児のSNS利用率が高い（約40%）
- ・インターネット使用時間は2時間以下という児童が多いが、男児の使用時間が比較的長い。
- ・多くの児童がフィルタリングについて知識がなく、設定されているかも知らない。
- ・多くの児童は課金の経験はないが、一部、10000円以上の課金も見られる。
- ・1~3割程度の児童はネットショッピングの経験がある。
- ・ネットショッピングでは有形な物以外に、音楽や映画やゲームなどもよく買われている。
- ・TikTokを使った動画投稿の経験者がどの学年にもみられた。
- ・インターネットで知り合った人とのトラブルは6年生の男子で高かった（約2割）
- ・インターネットで知り合った人と実際に合ったことのある児童はほとんどいないが、若干数確認された。
- ・半数以上の児童の家庭で、何らかのインターネットを使うときのルールが決められている。
- ・その一方、高学年になるにつれて、家庭で決めたルールを守れていない児童が増える傾向もあった。



アンケートにありました、子どもたちがスマホやインターネットを使っていた時に起きたトラブルや怖い体験の事例をご紹介します。

- ・嫌なメッセージを送られた
- ・ゲーム内のチームメンバー同士でけんかになった
- ・怖い動画が再生された
- ・アカウントをのっとられた
- ・あやしいサイトに勝手に飛ばされた
- ・あやしい人からメールが来た
- ・住所を特定されそうになった
- ・ウィルスにかかった
- ・勝手に自分の写真をアップされた
- ・迷惑メールやDMが届くようになった など



アンケートの項目にあったスマホやインターネットを使うときの各家庭でのルールにも様々なものが見られましたのでご紹介いたします。ご家庭でのルール作りの参考にさせていただければ幸いです。

- ・時間を決める（使用時間や時間帯など）
- ・勝手にアプリをいれない
- ・宿題や明日の用意が終わってから使う
- ・親に言ってから使う
- ・親のいるところで使う（自分の部屋では使わない）
- ・課金はしない
- ・物は買わない
- ・知らない人とメッセージ交換はしない
- ・住所や名前を入力しない
- ・親が「終わり」と言ったらかならずやめる
- ・LINEの内容は親がチェック
- ・YouTube 禁止
- ・動画投稿禁止
- ・SNS 禁止
- ・課金禁止 など



この機会に、ご家庭でスマホやインターネットの使い方について話し合っただけであればありがたいです。十五中校区内の学校で共同してまとめました「小中学生がスマートフォン・インターネット・ゲーム機などを健康で楽しく安全に利用するために」のプリントもぜひご活用ください。